

3. 地域子育て支援拠点事業

子育てに関わる方々のための身近な拠点施設として実施している事業の中で、共通した内容のものについて紹介します。

多摩市 利用者支援事業・地域子育て支援拠点事業 概略

「利用者支援事業」「地域子育て支援拠点事業」は、『子ども・子育て支援法』等（『子ども・子育て関連3法』）に基づく「子ども・子育て支援新制度」を根拠とする事業です。

多摩市では、「地域子育て支援拠点」に位置づけられた10施設（連携館を含む）で実施しています。

子ども・子育て支援法 第59条

「市町村は、内閣府令で定めるところにより、(中略) 地域子ども・子育て支援事業として、次に掲げる事業を行うものとする」

※第1号から第13号で右記の事業を規定

地域子ども・子育て支援事業【13事業】

- (1)利用者支援事業
- (2)延長保育事業
- (3)実費徴収に係る補足給付を行う事業
- (4)多様な事業者の参入促進・能力活用事業
- (5)放課後児童健全育成事業
- (6)子育て短期支援事業
- (7)乳児家庭全戸訪問事業
- (8)養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業
- (9)地域子育て支援拠点事業
- (10)一時預かり事業
- (11)病児保育事業
- (12)子育て援助活動支援事業
- (13)妊婦健康診査

利用者支援事業実施要綱 3. 事業の内容

「子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業」

地域子育て支援拠点事業実施要綱 3. 事業の内容

「乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業」

多摩市利用者支援事業実施要綱 利用者支援事業実施基準

- (1) 子育てひろば《常設》
- (2) 地域関連情報の提供
- (3) 子育て講習会《月1回以上》
- (4) 近隣拠点施設及び関係機関との相互連携
- (5) 出張ひろば《週1回》
- (6) 子育て関連事業等の情報集約・提供等
 - ア 『わくわく通信』の発行《隔月》
 - イ 教育・保育施設及び子育て支援・関連事業等の情報収集と提供
- (7) 子育て関連事業等に関する相談・利用支援
- (8) 子育て関連事業等との連携
 - ア 地域の子育て関連施設との『ネットワーク会議』の開催《年3回》
 - イ 「妊娠届出書」の受け付け及び「母子健康手帳」「母と子の保健バッグ」交付 ※令和5年3月31日終了

多摩市地域子育て支援拠点事業実施要綱 地域子育て支援拠点事業実施基準

「地域子育て支援拠点」としての事業

多摩市では「かがやけ！多摩市子ども・子育て・わくわくプラン（多摩市子ども・子育て支援事業計画）」及び国の「子ども・子育て支援新制度」が始まったことに伴い、平成27年5月より一ノ宮児童館・永山児童館・唐木田児童館を含む市内の5施設を「地域子育て支援拠点」に位置付け、妊娠期から18歳まで切れ目のない子育て支援を行う身近な拠点としました。平成28年5月からは、諏訪児童館・落合児童館が、平成31年4月から連光寺児童館が「地域子育て支援拠点」となりました。また、平成30年度に桜ヶ丘児童館が一ノ宮児童館の連携館となり、同年5月から「地域子育て支援拠点事業（連携型）」を実施しています。

（1）地域子育て支援拠点事業

地域子育て支援拠点事業は、地域の身近な場所にある公共施設等において、子育て親子が交流、育児相談等を行うことができる事業を実施することにより、子育て親子を地域で支える仕組みを構築し、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会を実現することを目的としている事業です。多摩市では、地域子育て支援拠点実施施設に親子で気軽に集える常設の「子育てひろば」を開設し、「子育て講座」「出張ひろば」等も実施しています。

ア. 子育てひろば（常設）

乳幼児の親子が気軽に交流できる場として、ゆっくり過ごすことができるひろばを常設しています。令和2年度から令和5年3月31日まで新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒作業の時間を設けました。また、段階的な開館時間の変更に伴い、従来の開設時間とは異なります。

a. 一般型

ひろば名称	児童館名	利用時間（※）	開設日数
ぴーなっつひろば	一ノ宮児童館	月～金 9:00から17:00	243日
ぼよぼよひろば	永山児童館	月～金 9:00から16:30	243日
こすもすひろば	連光寺児童館	月～金 10:00から16:00	236日
おひさまひろば	諏訪児童館	月～金 9:00から17:00	243日
ひろばとむ☆とむ	落合児童館	月～金 10:00から17:00	235日
フェアリーひろば	唐木田児童館	月～金 9:00から17:00 月曜休館時は火～土9:00から17:00	245日

b. 連携型

ひろば名称	児童館名	利用時間（※）	開設日数
ひろばちえりちえり	桜ヶ丘児童館	火～木 10:00から16:30	146日

（※）12:00～13:30は消毒作業のため除く。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の開設状況と異なります。

イ. 出張ひろば

近くに地域子育て支援拠点がない地域で、公共施設等をはじめ、利用者の皆さんが立ち寄りやすい場所で「出張ひろば」を実施しています。
※令和4年度は通常の開設場所や時間帯とは異なる条件で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら実施しました。

ひろば利用実績（令和4年度）

	子育てひろば		のべ利用人数
	幼児	大人	
一ノ宮児童館	7,676	6,206	13,882
永山児童館	4,307	3,944	8,251
諏訪児童館	4,388	3,827	8,215
落合児童館	3,220	2,881	6,101
唐木田児童館	4,639	4,443	9,082
桜ヶ丘児童館 (連携館)	1,658	1,533	3,191
連光寺児童館	2,962	2,373	5,335
合計	28,850	25,207	54,057



ひろばの様子（諏訪児童館）

ウ. 子育て講座

乳幼児の保護者が子育ての不安を解消したり、リフレッシュしたりする機会として月1回以上「子育て講座」を実施しています。以下は講座の様子の一例です。その他の取り組みは、「2. 各館の事業内容」を参照してください。



パパと子どもの筋トレ&ストレッチ
(唐木田児童館)



ママクラフト「スワッグ風アレンジ」
(桜ヶ丘児童館)



すくすく発達相談「手先のあそび」
(連光寺児童館)



ベビーマッサージ（落合児童館）

工. 乳幼児のための救急救命講座

乳幼児の保護者を対象に、乳幼児期に起こりうる怪我等に対する救急救命や予防法等について学ぶ機会を提供しました。父親を対象とした乳幼児のための講座については多摩市教育委員会の「家庭教育講座」として開催しました。

講師：国土館大学 防災・救急救助総合研究所

乳児対象

児童館名	開設場所	開設日時	参加人数(人)
一ノ宮児童館	一ノ宮児童館	10月17日 月曜日 10:30~11:30	大人 10
永山児童館	永山児童館	10月21日 金曜日 10:30~11:30	大人 10
連光寺児童館 桜ヶ丘児童館	連光寺コミュニティ会館	11月5日 土曜日 10:30~11:30	大人 21
落合児童館	TOMHOUSE ホール	11月18日 金曜日 10:30~11:30	大人 9
諏訪児童館	諏訪児童館	1月27日 金曜日 10:30~11:30	大人 14
唐木田児童館	からきだ菖蒲館 (ホール・会議室・和室)	3月4日 土曜日 10:30~11:30	大人 19

乳幼児対象 (教育委員会「家庭教育講座」※父親対象)

児童館名	開設場所	開設日時	参加人数(人)
一ノ宮児童館 連光寺児童館 桜ヶ丘児童館	健康センター 会議室	2月4日 土曜日 10:30~12:00	大人 19
永山児童館 諏訪児童館	永山児童館	3月11日 土曜日 14:30~16:00	大人 11
落合児童館 唐木田児童館	TOMHOUSE ホール	3月25日 土曜日 10:30~12:00	大人 10

(2) 利用者支援事業

利用者支援事業は、地域の身近な場所にある公共施設等において、子育て中の親子及び妊娠中の方が地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるように必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会が実現することを目的としています。多摩市では、「地域子育て支援拠点施設」に配置された専任の子育てマネージャーが、利用者の子育て等の相談に応じ、各種情報の提供を行うとともに、地域の関連団体との連絡調整及び情報交換等を行っています。また、各施設の担当地域の子育て関連事業等の情報を集約した情報誌「わくわく通信」を隔月で発行しています。

ア. 子育てに関する相談・利用者支援

a. 一般型

児童館名	相談件数
一ノ宮児童館	198
永山児童館	75
連光寺児童館	41
諏訪児童館	150
落合児童館	76
唐木田児童館	110

b. 連携型

児童館名	相談件数
桜ヶ丘児童館	53

イ. 地域子育て関連施設・団体との連携

ネットワーク会議

地域の実態にあった子育て支援を展開することを目的に、実施施設周辺で活動している子育て関連団体（幼稚園、保育所、子ども家庭支援センター、健康センター、児童委員、医療機関、子育て支援団体等）との顔の見える関係を作り、情報提供や意見交換を実施しています。

児童館名	実施日	参加団体数（のべ）
一ノ宮児童館	7月 4日(月)、12月 5日(月)、2月27日(月)	30団体
永山児童館	6月21日(火)、11月29日(火)、2月21日(火)	34団体
連光寺児童館	6月 1日(火)、10月28日(金)、2月24日(金)	27団体
諏訪児童館	6月28日(火)、11月22日(火)、2月28日(火)	28団体
落合児童館	7月 6日(水)、10月 5日(水)、2月 1日(水)	23団体
唐木田児童館	6月 7日(火)、11月 8日(火)、2月14日(火)	32団体

ウ. 健康センター パパママ学級

平成31年4月より実施。パパママ学級最終日（水曜日15時）に赴き、妊娠期にマネージャーと顔を合わせる機会を設けることで、出産後の拠点利用に繋げています。

実施日	参加者数	担当児童館
4月13日(水)	ママ15人 パパ 5人	落合・唐木田
5月18日(水)	ママ14人 パパ 9人	一ノ宮・永山
6月15日(水)	ママ15人 パパ11人	諏訪・唐木田
7月13日(水)	ママ15人 パパ10人	連光寺・落合
9月7日(水)	ママ10人 パパ 8人	一ノ宮・永山
10月12日(水)	ママ14人 パパ12人	諏訪・唐木田
11月16日(水)	ママ12人 パパ 4人	連光寺・落合
12月7日(水)	ママ12人 パパ 7人	一ノ宮・永山
2月8日(水)	ママ15人 パパ11人	諏訪・唐木田
3月8日(水)	ママ13人 パパ 6人 祖母1人	連光寺・落合

健康センター 3～4か月児健診

『多摩市子育て世代包括支援センター事業』において、地域子育て支援拠点との連携による相談支援体制の推進を目的に乳児健診（3～4か月児健診）に子育てマネージャーが出向き、地域子育て支援拠点の紹介を行っています。令和3年7月より月2回実施。

実施日		担当児童館	実施日		担当児童館
4月	12日	桜ヶ丘・多摩保育園	10月	11日	一ノ宮・永山
	26日	一ノ宮・永山		25日	連光寺・落合
5月	17日	連光寺・落合	11月	15日	諏訪・唐木田
	31日	諏訪・唐木田		29日	桜ヶ丘・多摩保育園
6月	14日	一ノ宮・永山	12月	6日	連光寺・落合
	28日	連光寺・落合		20日	諏訪・唐木田
7月	12日	桜ヶ丘・多摩保育園	1月	17日	一ノ宮・永山
	26日	諏訪・唐木田		31日	桜ヶ丘・多摩保育園
8月	16日	一ノ宮・永山	2月	7日	連光寺・落合
	30日	桜ヶ丘・多摩保育園		21日	一ノ宮・永山
9月	6日	諏訪・唐木田	3月	7日	諏訪・唐木田
	20日	連光寺・落合		28日	桜ヶ丘・多摩保育園

エ. その他

児童館名	名称	実施場所	実施日数	のべ人数(人)
一ノ宮児童館	関戸みどりの保育園 つどい・わらべうた	一ノ宮児童館 (一ノ宮1-18-7)	7日	幼児 73 大人 74
連光寺児童館	みどりの保育園 ひろば訪問	連光寺児童館 (連光寺3-57-1) (みどりの保育園ひろば)	2日	幼児 26 大人 23
諏訪児童館	あすのき保育園 身長・体重測定	諏訪児童館 (諏訪2-8)	11日	幼児 127 大人 133
唐木田児童館	地域活動センターあんど 言葉と聞こえの相談	唐木田児童館 (鶴牧6-14)	10日	幼児 29 大人 30

オ. 地域子育て支援拠点だより「わくわく通信」の発行(隔月・偶数月の1日発行)

児童館名	タイトル	発行部数
一ノ宮児童館	「わくわく通信」聖蹟桜ヶ丘地域版	約3,000部
永山児童館	「わくわく通信」永山地域版	約2,400部
連光寺児童館	「わくわく通信」連光寺地域版	約1,900部
諏訪児童館	「わくわく通信」諏訪地域版	約2,800部
落合児童館	「わくわく通信」落合地域版	約1,200部
唐木田児童館	「わくわく通信」唐木田地域版	約4,400部

4. 各館の共通事業 その他の取り組み

(1) 中学生重点対応館

一ノ宮児童館

永山児童館

唐木田児童館

平成23年4月から一ノ宮児童館、唐木田児童館を、平成26年4月には永山児童館を「中学生重点対応館」とし、午後7時まで開館時間を延長しています。午後6時から午後7時までは中学生専用時間帯として開館し、ダンスや楽器、ダーツ、ビリヤードなど中学生が楽しめる遊びの他、ゆったりとおしゃべりを楽しめる場所の提供を行っています。開館時間の延長によって中学生の来館を促進し切れ目のない支援に結びつけています。

児童館名	中学生対応時間来館人数（年間）
一ノ宮児童館	1828人
永山児童館	1465人
唐木田児童館	1409人

(2) 日曜開館

一ノ宮児童館

永山児童館

唐木田児童館

地域の子育て・子育て支援の充実、中学生の居場所の拡大を図るために、中学生重点対応館では、平成28年4月1日より日曜開館をおこなっています。

日曜開館日及び開館時間

◆一ノ宮・永山児童館 第2・第4日曜日開館 午前10時～午後5時

◆唐木田児童館 第1～第4日曜日開館（第5日曜日は休館日） 午前10時～午後5時

児童館名	開館日数 (年間)	来館人数				合計
		幼児	小学生	中・高生	大人	
一ノ宮児童館	25	286	609	285	416	1596人
	平均来館人数	11.4	24.4	11.4	16.6	63.8人
永山児童館	25	441	374	119	613	1547人
	平均来館人数	17.6	15.0	4.8	24.5	61.9人
唐木田児童館	47	948	1359	195	1334	3836人
	平均来館人数	20.2	28.9	4.1	28.4	81.6人

(3) 児童館直接来館制度

全館

児童館は原則として下校後いったん帰宅してから利用する施設ですが、小学生で自宅が遠いため一旦家に帰ると来館が困難な場合、もしくは保護者会や通院等の理由で保護者をご不在の場合や児童館事業へ参加する場合など理由によって学校から直接来館をすることができるようになりました。

令和4年度児童館直接来館制度利用実績

児童館名	申込み人数	延べ利用人数
一ノ宮児童館	22人	353人
永山児童館	14人	134人
愛宕児童館	20人	193人
連光寺児童館	11人	73人
豊ヶ丘児童館	8人	45人
東寺方児童館	9人	23人
諏訪児童館	15人	153人
桜ヶ丘児童館	1人	0人
落合児童館	11人	49人
唐木田児童館	23人	312人

(4) 健全育成環境の醸成事業

全館

※件数は資料51ページ

ア. 地域団体との連携

児童館は、子ども達が安心して地域で成長できる様、青少年問題協議会や子ども会など、地域の子どもの関連の団体や民生・児童委員と日常的に連携を深めており、定例会や各種会議にも出席して情報の交換及び課題の共有を行っています。

イ. 施設/備品貸出事業

児童館は、子どもの健全育成に関わる団体及びグループに対し、「活動支援」や「関係作り」「所有備品の有効活用」などの観点から事業に支障のない範囲で以下のような支援を行っています。

- ・「打合せ」や「自主的な活動」の場として、施設の一部を提供。
- ・「イベント」等の実施ノウハウや情報の提供。

※備品は、その性質により一般貸出しが可能な「一般用」と、庁内のみに出す「公用」に分類しています。

(5) YouTube配信

全館



多摩市公式チャンネル

はこちら

令和2年4月から、多摩市公式チャンネルにおいてYouTube動画配信を開始しました。コロナ禍では体操や工作、クッキングなど、外出自粛が続く利用者の皆さんに向けて安心を届けるために実施してきました。

令和4年度には休園や休校といった感染拡大防止対策が地域ごとに行われる中で、利用者が家でも安心して楽しめる内容の発信を地域に根差した形で継続しました。また、利用者の皆さんの目に届きやすいSNSでの発信もより活発になりました。そこで多摩市の児童館を知った方が、さらに興味を深めてもらうことを目的として、複数館が合同で実施した行事のうち「たまたまモンスター」「児童館アウトドアフェス～大谷戸で焚き火を楽しもう～」の2行事を3本の動画で配信しました。参加した方や、事業を知ってくださった方々に子どもたちが楽しんでいる姿や成長していく姿を見ていただけました。



【たまたまモンスター】多摩市市制施行50周年事業
「たまたまモンスター」②児童青少年課



児童館アウトドアフェス【大谷戸公園キャンプ練習場】
一ノ宮児童館・永山児童館・連光寺児童館
諏訪児童館・桜ヶ丘児童館

(6) たまたまモンスター (たまモン)

児童青少年課

多摩市市制施行50周年記念事業として、7月29日～31日の3日間を実施。「あそびハンター」たちと一緒に多摩市のマチであそぶちょっとフシギな演劇イベントに、9名の子どもたちが参加してくれました。

たまモンの唄を作詞したり、大きな門を作成したり、演劇で使う楽器や小道具を手作りしたりと、自分たちでアイデアを出し様々な工夫を凝らして3日間を共に過ごしました。最終日には小野神社で市長が詠む「たまモン」の祝詞を聞き、聖蹟桜ヶ丘の河川敷に設置された門の周りで自作の楽器を鳴らしながら舞を披露する9人の子どもたちはどこか神々しくもあり、我々に「あそびを通して大きく成長した姿」を見せてくれました。

【あそびハンター】

川口智子〈演出家〉 桒本幸良〈俳優〉

鄭慶一〈舞台製作、プロデューサー〉



たまモン最終日
参加した子どもたちと記念写真

(7) 児童館アウトドアフェス～大谷戸で焚き火を楽しもう～

一ノ宮

永山

連光寺

諏訪

桜ヶ丘

大谷戸公園キャンプ練習場で、焚火を中心に実際に「火起こし体験」をしたり、「薪割り体験」をしたりして“生きる力”を楽しく学ぶことを目的に実施しました。そのほかにも昨今のアウトドアブームに合わせて「ハンモック」や、今話題のスポーツ「モルック」を体験しました。自然の木を使った「鉛筆立て」や「焼き板づくり」をしたり、当日の様子を撮った写真を「フォトコンテスト」と称して募集したところ多くの作品が集まりました。

また、今回のアウトドアフェスは大谷戸公園を中心に5つの児童館が合同で実施をしました。5つの児童館が合同で実施したことで、多くのブースを展開することができ、より大きな規模で行うことができました。それ以外にも、児童館の職員が多くいることで参加者が普段利用している児童館以外の職員と関わりが生まれることも魅力です。



今回、コロナ禍ということもあり、定員を設けての実施でしたが、総勢189名が参加をしてくれて、「とても楽しかったです!」、「こんな楽しい企画をありがとうございました!」など、うれしい感想を聞くこともできました。今年度のみではなく、令和5年度以降も多くの方に参加していただけるような楽しい企画をしていきます。

今回、コロナ禍ということもあり、定員を設けての実施でしたが、総勢189名が参加をしてくれて、「とても楽しかったです!」、「こんな楽しい企画をありがとうございました!」など、うれしい感想を聞くこともできました。今年度のみではなく、令和5年度以降も多くの方に参加していただけるような楽しい企画をしていきます。

(8) 第40回 はちたま杯卓球大会

全館

団体戦結果	
優勝	一ノ宮児童館
準優勝	鹿島児童館 (八王子)
第3位	諏訪児童館
敢闘賞	浅川児童館 (八王子)
//	愛宕児童館
//	桜ヶ丘児童館
//	永山児童館
//	落合児童館
//	連光寺・東寺方児童館
//	豊ヶ丘児童館
//	松が谷児童館 (八王子)
//	唐木田児童館
//	北野児童館 (八王子)

多摩市と八王子市の児童館の「卓球」を通じた交流は3年ぶりに再開することができ、今年で40回目を迎えました。多摩市立総合体育館の第一スポーツホールで開催され、多摩市と八王子市合わせて13館の児童館から115名の選手が参加。午前中は、児童館対抗の団体戦、午後は各学年(1・2年生の部、3年生の部、4年生の部、5年生の部、6年生の部、中学生の部)に分かれて個人戦を行いました。

団体戦では、チームの仲間が一生懸命取り組んでいる姿をみて、応援に熱が入りました。個人戦では勝負にかける真剣さから緊張感が漂い、試合が終わると子どもたちは、ほっとした様子で自分のチームのところに戻り笑顔を見せる場面もありました。



はちたま杯卓球大会
団体戦の様子

(9) リーフレット「たましのじどうかん」

全館

児童館を利用したことがない市民や多摩市に転入してきた子育て世帯、これから転入を考えている夫婦や子育て世帯等を対象に、リーフレット『たましのじどうかん』を作成しました。児童館を知らない人が初めて手に取る資料なので、児童館の魅力をいっぱい詰めたリーフレットに仕上げました。

作成にあたり、それぞれの児童館を利用してくれている小学生をはじめ、幼児親子や中高生にも写真の提供など協力をしてもらいました。また、自身が子どもの時に児童館を利用していた人が、父親や母親になって再度利用している人が多いため、当時の利用方法や様子、自身が親になって利用してみてどう感じたか等、貴重なお話を聞かせていただく機会にもなりました。このリーフレットは各児童館の他、転入を考える際に必ず訪れる不動産屋など、対象者に合わせた設置場所を選定し、広く配布を行っています。



(10) 児童館紹介～Happy Valentine～

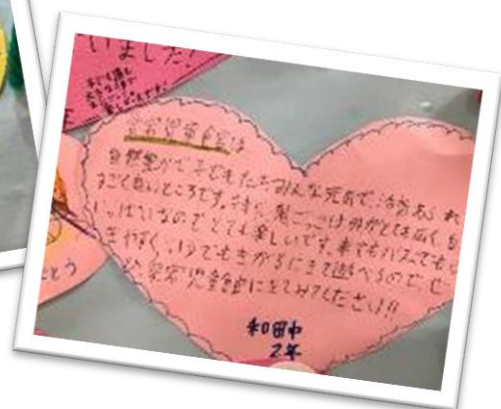
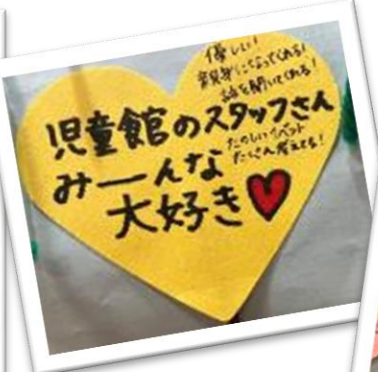
全館



京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター7階A館B館連絡ブリッジで、バレンタインを題材に展示を行いました。各児童館で工夫をこらして「自分の好きなもの、好きなこと」を利用者に書いてもらい、児童館ごとに個性あふれる展示をすることができました。書かれたメッセージも「アイドル名」や「好きなスポーツ」があったり、「夫の手料理」や「子どもの寝顔」などほっこりする内容もありました。さらに「児童館の職員」と書いてくれた人もいて、日頃の成果を感じる嬉しいメッセージもありました。

児童館10館の紹介展示も行い、各館のおたよりや児童館イメージキャラクターである「あそんじゃ王子」の紹介をしました。展示を見た人にはあそんじゃ王子の塗り絵を配付したり、アンケートのご協力をお願いしたりしました。アンケートには、「いつもありがとうございます！」や「まだ行ったことのない児童館があるので全制覇してみたい！」など普段利用している人が多かったですが、中には「児童館に行ってみたいと思いました。」とこの展示を機に児童館を知ってくれた人もいました。

展示に寄せられた声



(11) 各課との連携

全館

児童館では多摩市役所各課との連携事業を多数行っています。環境、食に関するものの他、市を盛り上げるための取り組みが随時行われています。ここでは、令和4年度の取り組みのうち主だったものを紹介いたします。

※その他、各館ごとの連携はそれぞれの行事実績一覧表に記載されています。

○出張教育・子育て世代包括支援センター事業（連携：健康推進課）

健康センター（健康推進課）とは常時連携をしています。連携の内容としては、育児不安を抱える家庭や虐待の問題等を日常的に連絡を取り合って解決に当たっています。また、妊婦の時期から児童館との関わりが持てるように「パパママ学級」で0歳児のつどいへの見学を呼びかけるチラシを配布しています。

特に出張教育については全児童館で取り組んでおり、健康センターの保健師、歯科衛生士、栄養士による講座が実施されています。令和2年度からは子育て世代包括支援センター事業の一環として、アドバイス☆DAY～ラウンド保健師～も開始し、身近な場で保健師の育児相談ができるようにしています。地域子育て支援拠点では「すくすく発達相談」として、島田療育センターから心理相談員や作業療法士といった専門職が出張し、子どもの発達について講話や相談も行っています。

○多摩市版地域包括ケアネットワーク連絡会（連携：福祉総務課）

分野別または対象者別の相談支援体制では対応が困難な、複合化かつ複雑化した課題に対応し、多機関で連携して適切な支援に結び付けること及び包括的な相談支援体制として対応することを目的として設置する会議体です。令和5年3月には地域包括支援センターの5エリアに分かれて、相談機関同士の顔の見える関係の構築や地域課題の発見などを目的にエリア別情報交換会に参加しています。

○児童虐待防止啓発展示（連携：子ども家庭支援センター・図書館）

11月の「児童虐待防止推進月間」に合わせ、児童虐待防止についての啓発展示を子ども家庭支援センター、図書館と連携し、市内全ての児童館（10館）で実施しました。

令和4年度は注目の高まるヤングケアラーや、今年度より施行された『多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例』に合わせ“大事にされること”に重点をおき、「大事にしてね 自分の気持ち 聴かせてね あなたの気持ち」をキャッチコピーとしました。啓発のため児童虐待についての解説パネルやリーフレット、図書館から選書された関連図書その他、「大事にしている気持ち」や「聞いて欲しい気持ち」というテーマで利用者から寄せられたメッセージカードも展示しました。

○多摩市農業委員会と児童館の共同事業（体験農業事業）（連携：経済観光課）

多摩市農業委員会と連携し、農作物の栽培過程の一部を子どもたちに体験してもらうことにより、農業への関心と理解を深め、学習的な効果及び情操的な効果を期待して行っている事業です。市内で農業を営んでいる方の畑で、サツマイモ等の作付けから収穫まで半年近くの期間をかけて子どもたちが体験します。収穫したサツマイモは持ち帰ったり、いも煮にして食べました。コロナ禍においては感染拡大防止対策のため中止する地域もありましたが、令和4年度は5館が実施しました。

